

アトリエシリーズ

みんなで話す・考える。
劇場と芸術と人、そして人同士の
新しい関係づくり

「劇場」のことや「芸術」のこと、
皆の“気になる”を深める場所。
毎回テーマに沿って多彩なゲストを迎え、
観る・発表するだけでなく、
一緒に考え、話し合いをしていく場所。
劇場との新しい関係を作る作業場。
キラリふじみの館長と芸術監督がホストとなり、
市民やアーティストをゲストとしてお招きして
さまざまな話を繰りひろげる、
昨シーズンから始まったアトリエシリーズ。
今シーズンも開幕です。

今シーズンのアトリエ

シングルマザーズについて

ゲスト 永井愛
4/4月

以降のアトリエの予定については、情報を順次
ホームページとチラシなどでお知らせしていきます。



2010年10月『海外の演劇事情について考える』

昨シーズンのアトリエ

- ・ 海外の演劇事情について考える
ゲスト 藤井慎太郎 [早稲田大学文学学術院教授]
- ・ 地域を知る。[全3回]
ゲスト 市川信男 [キラリふじみ前館長]
関繁雄 [初代館長、水子城之下組囃子連幹事]
久保田士朗 [勝瀬昔承会代表]
- ・ 拠点において創作活動をする
ゲスト 畑澤聖悟 [渡辺源四郎商店店主]
- ・ コンテンポラリー・ダンス徹底ガイド講座
ゲスト 乗越たかお [作家、やさぐれ舞踊評論家]
- ・ アーティストの魅力にせまる[全3回]
ゲスト 矢野誠 [作曲家、ピアニスト]
田中泯 [舞踊家]
岡田利規 [チェルフィッチュ主宰]

アウトリーチ・ワークショップ

邦楽地域活性化事業
子どもワークショップ
富士見高校ワークショップ
青年団「サンタクロース会議」関連企画：
・小学生対象の訪問演劇ワークショップ
・障害者ワークショップ

開館当初から積極的に展開している富士見市内の小中学校や高校への演劇やダンスのアウトリーチ・ワークショップ。

今シーズンは埼玉県と協力して「邦楽地域活性化事業」を行います。市内小学校での若手邦楽演奏家たちによる鑑賞＋体験型のワークショップです。

夏休みの「子どもワークショップ」では、演劇やダンスの手法を通じて、子どもたちは劇場とアーティスト、そして新しい友だちと出会い、触れ合います。

5日目に入る埼玉県立の「富士見高校ワークショップ」では、キラリふじみで活動するアーティストと生徒たちが、演劇やダンスといったメディアを用いて表現活動を行います。

12月の青年団公演『サンタクロース会議』の関連企画として、主宰の平田オリザ氏による「小学生対象の訪問演劇ワークショップ」と「障害者ワークショップ」を実施します。